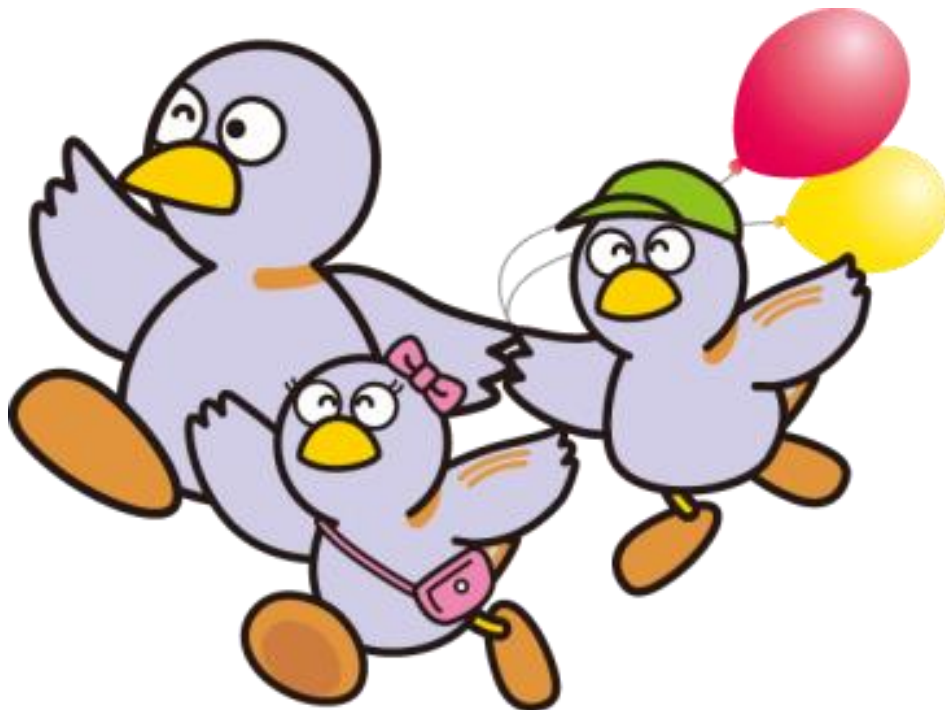




彩の国
埼玉県

平成29年度 自分発見！高校生感動体験
プログラム事業

エピソード集



埼玉県マスコット コバトン

埼玉県教育委員会

自分発見！高校生感動体験プログラム事業

自分自身が社会の一員としてかけがえのない存在であることを自覚し、意義のある高校生活を送ることができるよう、高等学校への適応能力の向上及び人間関係づくりを目的とした体験活動を中心とした、3つのプログラムを実施しています。

就労体験活動

生徒が将来について考え、高校生活に意義を見いだす契機となるよう、1年生全員に5日間の就労体験を実施します。

社会貢献活動

他者との交流を通して、社会性やコミュニケーション力を身に付けさせるため、被災地支援や地元自治会等と連携した清掃活動などの社会貢献活動を1年生全員に年3回以上実施します。

自然体験活動

普段の学校生活とは異なる自然環境の中で、アドベンチャー活動や野外活動など、集団活動を通じて、コミュニケーション力を高めるための自然体験活動を年1回以上実施します。

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 就労体験活動を終えて..... | 1 |
| ○生徒の感想から..... | 1 |
| ◇ 学校とはちがう..... | 1 |
| ◇ 成長..... | 1 |
| ◇ 使命感..... | 2 |
| ○先生の感想から..... | 2 |
| ◇ 活動を終えて..... | 2 |
| ◇ 生徒の成長..... | 2 |
| ◇ 自分と向き合い、より良い職業選択を..... | 3 |
| ○保護者の声から..... | 3 |
| ◇ 人との繋がり、未来へ !!..... | 3 |
| ◇ 就労体験を終えて..... | 4 |
| ◇ 2年生でも就労体験を..... | 4 |
| ○体験活動を受け入れてくれた方々の声から..... | 4 |
| ◇ 「“はたらく”意義に気づく」..... | 4 |
| ◇ 高校生の頑張りに大人も励まされる..... | 5 |
| 社会貢献活動を終えて..... | 6 |
| ○ 生徒の感想から..... | 6 |
| ◇ クリーンキャンペーンに参加して..... | 6 |
| ◇ 震災復興ボランティア..... | 6 |
| ◇ 福祉体験活動..... | 6 |
| ◇ 清掃活動の思い出..... | 7 |
| ○ 先生の感想から..... | 7 |
| ◇ 社会貢献活動を実施して..... | 7 |
| ◇ 教室では体験できない活動..... | 8 |
| ◇ 社会貢献活動（就労体験）を振り返って..... | 8 |
| 自然体験活動を終えて..... | 9 |
| ○ 生徒の感想から..... | 9 |
| ◇ 飯盒炊さん..... | 9 |
| ◇ 人の優しさに触れて..... | 9 |
| ◇ 自然体験活動を終えて..... | 10 |
| ○ 先生の感想から..... | 10 |
| ◇ ソーシャルスキルトレーニングについての教員の感想..... | 10 |
| ◇ 体験活動を通して..... | 10 |
| ◇ 生徒の成長を支える基盤づくり..... | 11 |

就労体験活動を終えて

○生徒の感想から

◇ 学校とはちがう

この5日間の就労体験で社会の厳しさを学べたと思います。学校と会社はまったくの別物ということが分かりました。学校では言葉遣い、身だしなみなどは注意あるいは指導だけで済みますが、会社では注意しても直らない場合は解雇されたりします。当たり前の事ですが自分からしたら少し厳しいなと思います。

その他にも、遅刻や欠席などもよほどの理由がないとできないことや、書類などの提出期限を1日でも過ぎたら周囲からの信頼を無くしてしまうなど、会社は学校ほどあまくないという事を学びました。

しかし、社会の厳しさだけでなく、自分のためになる事も学びました、それは周りとの協力することです。自分はベルトコンベアーでの流れ作業をしていました、一人でも居なかったり、止まったりすると、作業がおくれて工場全体に、損害がでてしまうので、周りの人とのチームワークが大切なのだと思います。

◇ 成長

私はこの5日間で、「働く」とはどのようなことなのかを学ぶことができました。

1日目、初めて職場に入るときはとても緊張しました。しかし、職場の方々にあいさつをすると、明るくあいさつを返してくださり、少し緊張がほぐれた気がしました。また、仕事の説明を受け、自分にできるか心配にもなりましたが、店員の方々が、1つ1つ丁寧にダンボールの開け方やカッターの使い方など、基本的なことから教えてくださり、とても安心しました。

そして、1番心配だった接客ですが、最初緊張しながらも「いらっしゃいませ」と声をかけるとお客様達が笑顔であいさつを返してくださり、安心と同時にとても温かい気持ちになれました。お客様の中には、「頑張ってるね」などと声をかけて下さるお客様もいて、とてもうれしかったです。

しかし、お客様に商品の場所などを聞かれたときに素早く対応ができず、お客様にご迷惑をかけてしまうこともありました。ですが、日々働いていくうちに、お客様の対応にも慣れ、商品の場所まで案内をすることができるようになりと



もううれしかったです。その他にも、品出しのスピードが上がり、丁寧に速く並べることができるようになり、自分の成長を実感することもでき、達成感を味わうこともできました。5日間、店員の方々の優しさや気遣いに支えられ、充実した職場でたくさんを学び、成長することができました。

◇ 使命感

今回の就労体験では、日頃から私達が思っている以上に、消防隊の方々が大変な訓練を行っていることがわかりました。消防隊の方々に教えていただきながら行った訓練の中で一番印象に残っているのが搬送法訓練です。最初はとても搬送しづらかったのですが、隊員の方から教えていただいた途端やりやすくなりました。持ち方一つでこんなにも変わるのかと思いました。消防隊の方々の働く姿は、一つ一つの動きがとても機敏で正確で感動しました。

就労体験を終えて、自分が将来消防士になりたいという思いが強くなりました。だから、今から勉強と運動の両方をしっかりと取り組んでいきたいと思います。「命を救うためにはどんな妥協もしないであきらめない。そして、必ず救って、必ず帰る。」という、担当していただいた方の言葉を胸に刻んで、将来消防士になるために努力したいと思います。

○先生の感想から

◇ 活動を終えて

担当学年の教員の業務量は大変多く、校務の進行管理はとても大変です。しかし、経験することの大切さや人と交流することの意義など、それぞれの感想が伺え、報われた気持ちになります。中には、思わず涙ぐむ感想に出会うこともあり、活動の効果を深く感じます。

学校では見られない姿や学校では教えられないことを体験している生徒の様子は、私たちにも感動を与えてくれます。生徒を温かく受け入れていただいた事業所の皆様に感謝します。

この取り組みをきっかけに、感性豊かな生徒に育ってくれればと願っています。

◇ 生徒の成長

各事業所の担当者の方から、生徒はよくやっているという言葉が多く聞くことができました。

実際に体験活動期間中は遅刻や欠席も少なく、主体的に活動することができたようです。生徒の感想を読むと「挨拶がとても大事だということがわかった」「コミュニケーションをとることが大切だった」など、人間関係の重要性を感じたようです。

体験終了後は挨拶ができる生徒の割合も増えてきているように感じています。この体験を通してひとまわり成長できたのではないかと思います。

各事業所の方々には大変感謝しております。ご迷惑をおかけした点もあるかと思いますが、この5日間は生徒にとって有意義な体験となりました。今後ともご協力いただければ幸いです。



◇ 自分と向き合い、より良い職業選択を

インターンシップを実施するにあたり、将来の職業選択を真剣に考えるという目的をしっかりと持たせる指導や、社会に出て活動するために必要な礼儀作法を身に付けさせるマナー指導等、細やかな事前指導を行いました。

事前打合せのアポイントメントを取ったり、打合せ後の報告をしたりする生徒の様子から、緊張しながらも前向きに臨む気持ちが感じられました。

インターンシップ中、巡回指導で事業所等を訪問すると、生き生きと楽しそうな笑顔を向ける生徒がたくさん見受けられました。生徒自身に興味、関心のある専門職に触れ、やりがいを感じている様子が窺えました。

体験報告会では、5日間のインターンシップの中で生徒が何を学び得たかを聞くことが出来ました。挨拶の大切さ、掃除・片付けの習慣化、時間を意識して活動することの大切さ、報告・連絡・相談の大切さなど、基本的なことをしっかりとこなす事が、社会人としての第一歩である事に気付けた生徒が沢山いました。

このインターンシップによって、生徒が自分の中の自分をしっかりと見つめ、自分の個性や適性を考え、自分をより良く生かしていける職業を考えてほしいと願っています。

今年度も事業所の方々にはご指導いただき大変感謝しております。ご迷惑をおかけした事もあったことと思いますが、丁寧にご指導いただき生徒にとって大変有意義な時間となりました。今後の生徒の成長をともに願っていただければと思います。

○保護者の声から

◇ 人との繋がりは、未来へ !!

インターンシップに向かう息子、体験先は、3年間息子がお世話になった幼稚園でした。幼い頃に通っていた幼稚園で、まさか自分が職場体験をするなんて思っていなかったのではないのでしょうか。

5日間の体験で息子は帰宅するなり、「小さい子って可愛いなあ。でも今の子は、アレルギーを持っている子、好き嫌いがある子もいるから、給食の時間が一番気を使うよ。」と嬉しさの半面、難しそうな顔をして話をしてくれました。

子供を育てていく大変さを知り、またその子育てに関わる先生や地域の方々との繋がりを、少しでも経験できたのではないかと感じました。

また、自分自身の将来についても考えるよい機会だったと思います。将来、息子がどのような人生を送っているのか…親として、また先輩としてサポートしながら見守っていきたいと思います。



◇ 就労体験を終えて

経験したことのない世界を知り、まだ自分には知らないことがたくさんあるということを実感したようです。体験先のスタッフの皆さんがとてもよくしてくださり、仕事の大変さとやりがいを持って仕事に取り組む姿への憧れとの両方を感じたようです。とても良い体験をさせていただきました。

◇ 2年生でも就労体験を

普段学校では関われない人と関わり、学べないことを学ぶことができ良かったです。できれば、2年生でも、もっと長期に、何種類かの職種を体験できると良いと思います。

子供は働くことが大変だと知ったのか、親に労いの言葉をかけてくれるようになりました。前から優しい子でしたが、就労体験で小さな子たちと接して、もっと普段より優しい顔になりました。

○体験活動を受け入れてくれた方々の声から

◇ 「“はたらく” 意義に気づく」

毎年、就労体験の受け入れを心待ちしております。それは、生徒さんの一生懸命に仕事に取り組む姿を見させて頂き、たいへん感銘を受けるからです。そして、生徒さんへの指導を通して、私自身が“はたらく”意義を再確認させていただいております。今年もそうでした…。

就労体験初日に、「就労体験の目的は？」と生徒さんに尋ねたところ、「仕事をするに当たって、どんな気持ちで行えばよいのか、大切なことは何かを学びたいです。」と答えが返ってきました。私は、「“はたらく”とは、世の中をよくすること。だから、世の中の役に立ち、人の喜びに貢献することが仕事です。そのことに気づくことが大切。」と伝えました。

生徒さんは、私が指示した仕事に一生懸命に取り組みました。単純な清掃の仕事でも心をこめて行い、その姿を観た入居者さまから「ありがとう。」という言葉が掛けられてとても喜んでいました。目の前の仕事に一生懸命に取り組み、感謝され自分が嬉しいと思えた体験を、今後の人生に活かされることを願っています。そして、私自身もより一層“はたらく”意義を噛み締めて仕事をして行きます。本当に有難うございました。

◇ 高校生の頑張りに大人も励まされる

今年もインターンシップの受け入れをさせて頂きました。数ある仕事の中から旅館を選んでもらい嬉しかったです。去年は女子2名で本当によく仕事をしてくれました。今年は男子2名だったので不安でしたが、それを吹き飛ばすくらい、きちんとした仕事をしてくれました。とても大変だったと思いますが、よく頑張ってくれました。本当にお二人には感謝いたします。

毎年受け入れておりますが、受け入れ側の気持ちとしてはどのような子が来るのか、正直毎年不安です。

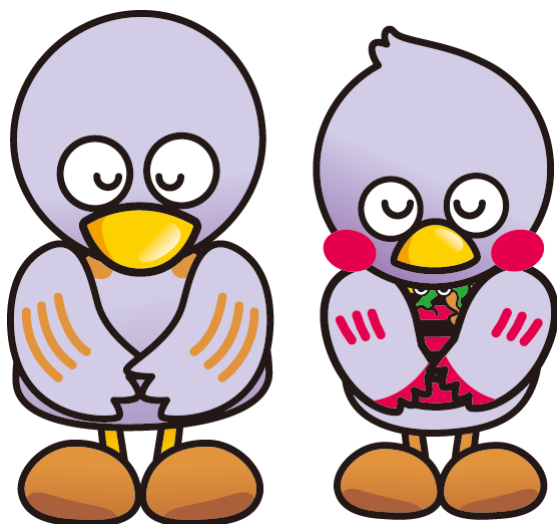
また仕事を教えるスタッフを一人ずつつけるので教える手間や時間もかかります。でもそれを踏まえた上で、高校生にこのインターンシップという経験から将来について考える良い機会を持ってほしいと願って喜んで受け入れています。

やるからには何かをつかんでいってほしいと思って、毎年客室、風呂など全館の掃除をしてもらっています。時間帯が掃除の時間だからということだけでなく、掃除はすべての仕事の基本であると考えているからです。

旅館の仕事のすべてをその5日間で教えることはできませんが、これからの将来仕事をするうえで、大切な挨拶、時間を守る、働く人同士のコミュニケーションなどを学んでほしいと思いました。そして掃除の行き届いたところにお客様を迎えるというお客様商売ではとても大切なことを学んで生かしてほしいと思いました。

高校時代のそういった経験は、将来に良い影響を与えたいと思いますので、インターンシップでもアルバイトでも、「働く」という経験を学業に影響がない程度にしてほしいと思います。

それによって親御さんの苦勞を想像して、親御さんへの感謝につながっていくと嬉しく思います。長いようで短い5日間ではありましたが、高校生が全力で働く姿がとても微笑ましく、たくましく思いました。それと同時に周りの大人も励まされました。本当にありがとうございました。



社会貢献活動を終えて

○ 生徒の感想から

◇ クリーンキャンペーンに参加して

私がクリーンキャンペーンに参加して思ったことは、タバコのごみが多かったことです。他にも缶や包み紙、ペットボトルなどもありました。いつも普通に使っている通学路にも、よく見るとたくさんのごみが落ちていました。

ゴミ拾いが終わって、集合場所の皆野町役場で回収作業を行っていたとき、たくさんのごみが集まっていたので驚きました。

クリーンキャンペーンに参加して、町に少しでも貢献できたのでよかったです。来年も引き続き、感謝の気持ちを持ちながら頑張りたいです。



◇ 震災復興ボランティア

初日はアクアマリン福島を訪れ、スタッフの方々から防災や震災当時の状況についてお話を伺いました。震災から7年経ちますが忘れないでいることが大切であると思います。スタッフの方々の思いや震災と向き合い、一歩ずつ復興させていこうという思いを強く感じました。

2日目は、今年の3月にもお世話になったNPO法人ピープルの方のもとで主にコットン畑の除草のボランティアを行ないました。草が一面に生え、草なのかコットンなのかわからないような状態だった畑を力を合わせて除草しました。経験を重ねると作業もスムーズに進められるようになることを実感しました。

◇ 福祉体験活動

私たちは町内に昨年できたコミュニティ・プラザの中にあるニュータウンふくしプラザで福祉体験活動をしました。

そこでは職員の方以外にボランティアの方々もいて、「ボランティアは言われてやるのではなく、自分自身の意志で参加するものだ。」ということが理解できました。積極的になりすぎて何でもやってしまわないようにして相手のできない部分をお手伝いすればよいことを学ぶことができました。

手話体験をし、自分の名前や曜日、「ありがとう」などの会話を学ぶことができました。

手話体験の後、プラザで高齢者の方と話をさせていただき、笑顔で大きな声でゆっくりハキハキと話すことを意識し、それができたのでよかったですと思います。最初はどのように接すれば

よいかわかりませんでしたが、高齢者の方がどんどん話しかけてくれたので楽しく過ごすことができました。一人暮らしの方が「こういう場があるから悲しくない。」と話していました。

職員の方も「ここに来るのがこれで最後にならないようにしてほしい。」と声をかけていただき、また友達と学校帰りに寄ってみようと思いました。

◇ 清掃活動の思い出

地域の方々に日頃の感謝を込めてごみを残さず回収できました。とても達成感があり、気持ちが晴れやかで気分がよかったです。

見えないところにたばこの吸い殻が多く、吸い殻を拾うのは大変でした。清掃活動をして、ごみがたくさん集まったので達成感があったとともに喜びもありましたが、逆に考えるとそれほど多くのごみがあったということなので、この先もこの活動を続けていきたいです。また、これからはペットボトルやビンカンをもっとちゃんと捨てていくように心がけます。そして、学校生活でもこれを生かしていきたいです。日常ではあまり見つからないごみなどを自分たちで探して捨てるのが、とても達成感があり、良かったです。

○ 先生感想から

◇ 社会貢献活動を実施して

本校に入学する生徒の中には、高校生活に対して目的意識が希薄なまま入学してくる生徒が少なからずいます。その結果、学校生活に適應できなかったり、学習についていけないで残念ながら中途退学や休学をする現状があります。

クリーンキャンペーンでは、生徒が通学する道を、改めて学校行事として地域の道を歩くことにより、地域を知るとともに「タバコのポイ捨て」や「空き缶の投げ捨て」などの危険性やマナーについて考えさせられることがあったようです。

ミニ門松づくりでは、道路公団の方から丁寧に指導をいただきながら、生徒は慣れない手つきで友達と協力をしてひとつひとつの門松を作り上げていました。作りあげた200個の門松は、皆野・寄居有料道路で無料配布し、多くの方々に喜んでいただき、作りあげた喜びとやりがいに通じたと思います。今後も本校の特徴である体験活動を通して、生徒ひとり一人が社会性やコミュニケーション能力を高め、意義のある高校生活を送れるように指導していきたいです。



◇ 教室では体験できない活動

本校に入学してくる生徒には、人間関係づくりが不得手であったり、必要なコミュニケーションが取れなかったりと、学校生活に苦勞する者が在籍しています。そうした課題を解決する一つとして、3日間の社会貢献活動やSST等が実施されており、少しでも社会性を身につけて新たな進路に向かってほしいと考えます。

特に社会貢献活動では、学校では体験できない活動を通して、教室では学ぶ事ができない経験が得られたのではないかと考えています。

多くの事業所で「よくやってくれている」「自分から次の仕事を聞いてくる」など積極的な姿勢を評価していただくことが多くあり、また生徒は、自分なりに仕事を理解し、実践しようと努力しているようでした。

机に向かって勉強している時とは、全く異なる表情で取り組んでいる生徒もいるほどでした。

私たち教員は、学校の中で勉強が「苦手な」生徒に対し、それだけで評価をしてしまっているのかもしれない。社会には様々な職業があり、人がいます。学校という枠にとらわれず、あくまでも「社会の一員」にさせるという視点を持つことが必要であると、実体験をもって感じた社会貢献活動でした。

◇ 社会貢献活動（就労体験）を振り返って

生徒には入学当初から体験活動を周知し、その準備としてコミュニケーション能力を高めるワークショップや2回のマナー講座を実施しました。コミュニケーションの基本、社会人としてのマナー、事業所に何う心構え等について学ぶ場を設けましたが、細かくメモを取る生徒もいる反面、集中できない生徒も多く、初めは心配のほうが大きかったように思います。

学年の教員以外にも進路指導部や他学年の先生方にも協力を仰ぎ、事業所ごとに担当を決め、打ち合わせの訪問や生徒の持参書類作成等の指導を行いました。グループごとの指導により、生徒同士、また担当教員とも一体感を持って準備にあたることができました。各事業所では積極的に受け入れをしてくださり、また実施後の生徒の評価についても、普段の学校生活とは違う生徒の一面を評価していただき、今後の学校生活において指導に役立つような個々の長所を引き出してくださいました。

参加した生徒の報告書やクラス単位での発表会を思い返すと、充実した体験だったことがうかがえました。他の生徒の事業所での体験を、どんなことをしたのだろうと興味関心を持って聞く生徒、事業所の方々にかけていただいた印象的な言葉を語る生徒、接客業でお客様に温かい言葉をかけてもらったエピソードを披露する生徒など、それぞれに3日間で貴重な経験ができたようです。生徒アンケートで、またやってみたいという回答が多かったことにもそれが表れていると思います。

今回の体験を通じて、社会に出て働く意義を自分なりに考え、自分が誇れる点、逆に足りない点を客観的にみつめ、今後の進路におおいに役立ててほしいと思っています。

自然体験活動を終えて

○ 生徒の感想から

◇ 飯盒炊さん

高校に入学して初めてクラスの仲間との大きな行事。まだ、あまり話したことのない仲間とうまくかわれるか不安でした。残念ながら、オリエンテーリングは雨天のため中止になってしまいましたが、飯盒炊さん・カレー作りは実施できました。

男子がご飯担当・女子がカレー担当で分担を決めて行い、今まではあまり話せなかった仲間と話ができたり、協力し合ったりして、とても楽しい体験になりました。

◇ 人の優しさに触れて

3日間の体験活動（農業実習）を終えて、農業に関することはもちろん、社会生活に関することや人々との関わりや付き合い方について学ぶことができました。

1日目はどのようなことをするのか、農家の方はどのような方なのか不安で一杯でしたが、実際に行くと、農家の方がいろいろな話をしてくださり、とても話しやすかったです。

作業も農家の方が優しくゆっくり丁寧に教えてくださったので、みんなで協力して作業をすることができました。

2日目になると1日目より慣れて、不安もなく積極的にできました。3日目の最終日は1日目ほどの緊張や不安もなくなり、農家の方やその他のお世話になった方などと、たくさんお話をすることができました。作業も素早く丁寧にすることができたと思います。

この3日間の体験活動で、今まで知らなかった農業に関することを知ることができたと共に、農家の方から、多くのお話を聞いたことで、社会の厳しさや沢山の人の関わりについても学ぶことができました。お忙しい中、ご指導いただきましたが、少しでも農家の方々の役に立てていれば嬉しいです。本当によい体験をありがとうございました。



◇ 自然体験活動を終えて

自然体験活動として、葛西臨海公園に行きました。葛西臨海公園に向かう途中、事故による渋滞があったため、事由になる時間は減ってしまいましたが、友達と写真を撮ったり、魚を見たりと、すごく楽しい時間を過ごすことができました。

マザー牧場への到着も遅れてしまいましたが、クラスの友達と集合写真を撮ったり、昼食をおいしく食べたりできて良かったです。

水族館も牧場も時間に余裕がなくじっくり見学することはできなかったけど、バスの中での話は、学校とはまた違う話のできたので良かったです。

入学してまだ2ヶ月も経っていないところでしたが、クラスみんなで、すごく良い雰囲気だったので良かったなあと思いました。雨が降ったり渋滞に巻き込まれたり大変なことは多かったし、楽しみにしていた潮干狩りはできないなどのハプニングがあってこそ、すごく思い出に残る遠足でした。

○ 先生の感想から

◇ ソーシャルスキルトレーニングについての教員の感想

高校に入学した直後の生徒は、新たな人間関係づくりに苦慮している姿がよく見られます。

社会性を人間関係の体験の中で学んできたものと捉えると、社会に適応していくスキルの向上が必要だと考えられます。そこで、他者の行動の良い部分をモデルにし、社会に適応していくスキルを身につけさせるために、ソーシャルスキルトレーニングを実施することは、よりよい人間関係づくりを学ばせるために効果があると思います。

ソーシャルスキルトレーニングについては、生徒のソーシャルスキルの伸長、定着を図るために、活動内容を年間計画に位置づけて取り組んでいます。教師自身も日々の教育活動の中で、適切なソーシャルスキルの手本を示すことを心がけていきたいと思います。

◇ 体験活動を通して

入学して初めての校外行事。クラスの仲間との親睦を図ることを目的に行われた行事でした。



どの班も飯盒炊さんやカレー作りを通して、生徒同士がコミュニケーションを密にとりながら、協力し合う姿がみられ、クラスの仲間の親睦が深まるのを感じました。

また、担任の先生方もチームに分かれて、飯盒炊さん・カレー作りを行いつつ、生徒にカレー作りのアドバイスをしたり、活動の様子を写真に撮ったりして、生徒と教員が親睦を図ることもでき、生徒にとっても、教員にとっても大変有意義な遠足となりました。

◇ 生徒の成長を支える基盤づくり

本校では、「校外農業実習」の目標を、第1に「地域の人や異世代の人との交流をとおして、コミュニケーション能力や規範意識を向上させること」第2に「望ましい勤労観・職業観を育てるとともに、社会人として必要なマナーを身に付けさせること」第3に「校外における農業実習を通して、地域の農業を知るとともに、農業への意欲を高めさせる」ことを掲げて取り組んでいる。

実習を終えた生徒一人一人から、充実感や人の温かさに触れ人として成長していく姿が観察できたと感じました。自然の中での勤労体験が、生徒の人間関係づくりや将来について考えるきっかけづくりとして必要である。参加生徒の中には、以前よりも積極的に自分から行動することのできるなど生徒なども増えている。このことは、学校・地域・家庭との連携にができることで、生徒へのサポートになると同時に成長させるための基盤づくりなると感じました。

今後、地域の農家等とで農業体験実習を通して、農業に関する興味・関心を高め、専門の基礎・基本を培うとともに、社会性・協調性・マナーなど身に付けさせ、生徒の健全育成を目指したいと思います。

